

東京新聞社

一、憲法ニ對シテハ、今日、吾國ノ士氣、其權ニ對シテ、

其權ニ對シテ、

其權ニ對シテ、

其權ニ對シテ、

其權ニ對シテ、

其權ニ對シテ、

其權ニ對シテ、

其權ニ對シテ、

其權ニ對シテ、

其權ニ對シテ、

其權ニ對シテ、

其權ニ對シテ、

二、協調會館ニ於テ民衆大會ヲ開催反對演說會ヲ開イタ

三、大會閉會後議會ニ請願ヲナサントシタ、其途中御成門及ヒ

櫻田本郷ノ交叉點ニ於テ民衆ト警察官トガ衝突シタ

我等ハ生シガ爲ニハ最後ノ手段トシテ法ヲ（注意）佛革命ノ牢

獄破壊ハ何ヲ意味スルヤ、我等ハ生シガ爲ニ伸シガ爲ニ絶對該惡

法案ヲ阻止セナケレバナラス。

古野周藏（辯護士）

私ハ法律上ヨリ杜撰ナル治安維持法案ニ對シテ反對ヲ表明スル

モノデアル、第一ニ問題トナルハ團體ノ意義デアアル國際聯盟、

平和會議、軍備縮少等ニツキテ言ヘバ忽チ此ノ法ニ觸レザルヲ

得ナイ、第二ニ政体ノ意義デアアル、異議ヲサシハサムベキ餘地

ノ多イ文字デアアル、立憲政治ノ爲ニ萬丈ノ氣焔ヲ吐ケル故大隈

侯、板垣伯等モ亦此ノ法案ニ依レバ苦役十年ヲ見舞レタカモ知

レナイ、該法案ハ我々ノ世界ヲ建設スルニアラスシテ破壊セ